

※ 今週のアウトルック(7/11~7/15)

先週、ドル円は狭いレンジ内でのみみ合い、ユーロ円、ポンド円は調整と通貨ペアごとにまちまちの動きとなりました。

週末に発表された米国雇用統計は予想を上回る好結果となり、円安がやや進みました。

今週は米国雇用統計の好結果を受けて、アジア市場がどのような反応を見せるのか、まずはそのあたりが注目されます。

先週のドル円は、134円台後半から135円台での狭いレンジ内での動きが続いたのち、金曜日に発表された米国雇用統計の好結果を受けて、136円台に突入しました。

今週は、この流れを継続して137円台に突入することができるのか、まずはそのあたりが注目されます。

今週、137円台に到達できる可能性は6割程度と考えています。

ドル円の予想レンジは134円から138円です。

先週のユーロ円は、金曜日に一度136円台まで下落しました。

その後、NY市場の終わりにかけて上昇し、138円台後半をもって終了しています。

今週のユーロ円は、136円台で底値確認感があることと、ユーロドルの売られすぎ感からある程度の巻き返しが期待されます。

早期に140円台を回復できれば、再び145円付近のレジスタンスラインに挑む展開も、期待できるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは137円から145円です。

ポンド円も底値確認感とポンドドル売られすぎ感からの再浮上が期待されます。

再び168円付近のレジスタンスブレイクへ向かう展開もあるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは160円から169円です。

米国雇用統計の好結果を受けて、調整気味のドル高円安トレンドが本格再開となるのか。

まずは月曜日の東京市場、ロンドン市場の動きが注目されます。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。